

ごあいさつ



青梅信用金庫

理事長

森田 昇

皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平成25年度の事業概況と決算の内容をご報告申し上げるにあたり、日頃のご支援とご愛顧に感謝し、心より厚く御礼申し上げます。

平成25年度の日本経済は、デフレからの脱却と経済の再生を目指すアベノミクスの推進により、円安・株高の進行、堅調な個人消費、公共投資の増加などから大手企業を中心に業況の改善が進み、長引くデフレからの脱却と日本経済の景気回復の兆しが見えてきた年でありました。

このような環境の中、当金庫は「地域活性化を推進する信用金庫」の基本方針のもと、「地域への積極的な融資」と「地域社会貢献活動」を通して、地域社会の持続的な発展に努めてまいりました。具体的には、「お客さまの経営課題」の解決や事業発展に向けた金融支援、また「個人のお客さまへの生活応援」のための資金支援に全力で取り組んでまいりました。さらに地域社会貢献活動においては、「美しい多摩川フォーラム」の事務局として、この事業の地域づくり運動を支援し、経済、環境、教育文化の3つの観点から各ボランティア活動に積極的に参加してまいりました。

平成26年度は、3ヵ年の中期経営計画の最終年度として、当金庫のビジネスモデルである「お客さまのことをよく知り、お客さまと一緒になって、問題の把握やその解決策を考え、適切な金融サービスを提供していくこと」を実践し、地域のお客さまに真に必要とされる信用金庫として地域と共生していきたいと考えております。今後も地域社会の一員として、創業の精神である“共存同栄”の実現に向け、全役職員が一丸となり積極的に取り組んでいく所存でございます。

何卒、倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

平成26年7月

企業理念

わたしたちは、自然と文化に恵まれたこの地域とともにあって、
産業の発展と豊かなくらしの実現に貢献します。

あおしんの役職員全員は、地域金融の担い手として、事業活動を展開するエリアと共生し、この地域で事業展開する中小企業の成長・発展とここに生活する人々が求める豊かなくらしの実現を目指し、あおしんがお客さまに對してお役に立つことを宣言します。

経営方針

信頼

あおしんの経営は、何よりもお客様の信頼を基盤にしており、それは、「この地域のお客様」「ここに働く役職員」つまり青梅信用金庫を取り巻く人と人との関係を大切にすることであり、その基本となるコミュニケーションを大切にすることです。

中期経営計画

平成24年度からスタートした中期経営計画は“地域の豊かな未来の創造”と題して“地域への積極的な融資”と“地域社会貢献活動”を通して、地域社会の持続的な発展に貢献していくこととしています。

私たちは、地域のお客さまの豊かなくらしの実現や産業の発展に貢献することを第一に考え、地域の活性化を推進してまいります。

重点課題

1. 地域密着型金融
2. 経営基盤の強化
3. 職員の能力・意欲向上

経営目標

	経営目標(26年度末)	25年度実績
自己資本比率	10.00%	10.15%
不良債権比率	6%台(6.99%)	6.84%
当期純利益	15億円	20億円